



2023 年度

グローバル・ビジネス研究科シラバス

明治大学専門職大学院

# 目 次

I	行事予定	5
II	履修手続きの注意事項	9
	修了要件について・履修にあたっての注意事項	10
	履修登録について	11
	レポート・論文の剽窃（盗用）行為への注意	12
	科目ナンバリングについて	13
	ILOs 体系について	14
III	授業科目一覧	15
	授業科目及び担当者	16
	クラスター履修モデル	21
IV	2023 年度開講科目	23
	必修科目群・共通科目群	25
	専門科目群	
	ファイナンス・リアルエステート領域	75
	マネジメント領域	123
	アカウンティング領域	211
	マーケティング領域	259
	ビジネス・ロー領域	300
	論文演習	326
V	ILOs 体系一覧	382
VI	教員 E-mail アドレス一覧	392

## グローバル・ビジネス研究科グローバル・ビジネス専攻の 人材養成に関する目的及び教育研究上の目的

本研究科のミッションは、日本経済・社会のダイナミズムの高揚のため、専門的な知識・スキル、情報分析能力、価値創造力、広い視野及び高度な倫理感覚、リーダーシップ、アジアを中心としたグローバルな視点を備えた次のようなビジネス・プロフェッショナル人材を養成することにある。

- ・ファミリービジネス発展のための経営者、後継者及びサポート人材
- ・新規事業や第二創業を含むスタートアップビジネスを担うイノベーション人材
- ・企業の経営者や上級幹部として、組織のマネジメント全般を担うジェネラルマネージャー

その人材養成目標のためのファミリービジネス、スタートアップビジネス、企業マネジメントに係る研究を行い、学生と教員の共創の場、学生の実務と理論の自主的な学びの場、キャリアチェンジの場及びビジネスマッチングの場を提供する。

## グローバル・ビジネス研究科教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

本研究科の入学者は多様な背景をもち各専門知識の深度は大きく異なります。そのために本研究科のカリキュラムでは必修科目5科目を設け、MBAとして必要な受講生の知識水準を合わせるように配慮されています。基礎的の共通知識は共通科目で学習します。専門領域には、マネジメント、マーケティング、アカウンティング・税務、ファイナンス・不動産、ビジネス・ローの専門5領域に関する科目があります。本研究科ではこれらの科目を、横断的に総合する体系として、ファミリービジネス・クラスターとスタートアップビジネス・クラスターを設定し、各領域、クラスターにおいて人材の養成に関する目的及び教育研究上の目的を達成するべく履修モデルを体系化しています。学生は、主としてこれらを、体系的に自主性をもって学習することが期待されています。各領域の観点からは、各科目は、理論科目とケースによる学習を行う科目、演習科目が組み合わせられて構成されています。

各科目の教員は、専門の研究者のほか、実践的知識を備えた企業経営者や経営コンサルタント、アナリスト、先端の実務家講師を起用しています。

授業の方法は、少人数教育、双方向・多方向、ケーススタディ、英語講義、海外研修などの多様な形式によるプログラムを最も効率的かつ柔軟に組み合わせ履修できる体制を整備しています。

修了には修士論文に相当する論文の提出およびその審査に合格することを要件としており、そのために履修生は各自の興味ある主題に対して徹底した討論と個別指導を通じて、単に論文作成能力だけでなく、本研究科で得た知識・スキル、専門的知識の集大成として、自主的な思考能力や分析能力を高めることが可能となります。このようなカリキュラムと指導を通じて博士後期課程への進学にも備えることが可能となります。

また本研究科では進化を続けるビジネス、テクノロジーや学問に適応できるように卒業後も科目等履修制度と同窓会制度により、生涯学習と知識のリファインを続けていく体制を整備しています。

## グローバル・ビジネス研究科学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

### 目指すべき人材像

本研究科はミッションに沿って、専門的な知識・スキル、情報分析能力、価値創造力、広い視野及び高度な倫理感覚、リーダーシップ、アジアを中心としたグローバルな視点を備えた人材の養成、特に、ファミリービジネス発展のための経営者、後継者及びサポート人材、新規事業や第二創業を含むスタートアップビジネス及びイノベーションを担う人材、企業の経営者や上級幹部として、組織のマネジメント全般を担う人材を養成することを目的としています。

具体的には、マネジメント、マーケティング、アカウンティング・税務、ファイナンス・不動産、ビジネス・ローに関する科目を設置し、これらの科目を人材養成の目的に合わせて横断的に統合するクラスター制度を導入することにより、上記の目指すべき人材を育成します。

### そのための具体的到達目標

本研究科では、各領域のプロフェッショナルを志望する学生に対しては、各専門科目のバランスの良い履修とともに、各人の個性に応じて特定の専門分野を深く掘り下げて学習する場を提供し、社会や企業で役立つ実践的知識の習得を到達目標としています。また、理論学習においても博士後期課程への進学が可能な水準まで到達することを目標としています。本研究科は、上記のビジネス教育プログラムにおいて、必修科目5科目を含む最低46単位（23科目）及び修士論文を履修し、ビジネスリーダーとしての高い実践的な専門知識と高い判断力を修得した者に対して、「経営管理修士（専門職）：Master of Business Administration」の学位を授与します。

# I 行事予定

# 2023年度 グローバル・ビジネス研究科学年暦・行事予定

※明治大学学年暦とは一部異なります。

《春学期》 4月1日(土)～9月19日(火)

2023 4月							2023 5月							2023 6月						
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
27	28	29	30	31	01	02	01	02	03	04	05	06	07	29	30	31	01	02	03	04
					4月入学者 ガイダンス				憲法記念日 休講 事務閉室	みどりの日 休講 事務閉室	こどもの日 休講 事務閉室						8 第10終了(6限) 第20開始(7限)	8 第20開始		
03	04	05	06	07	08	09	08	09	10	11	12	13	14	05	06	07	08	09	10	11
授業なし	授業なし	① 授業開始	①	① 4月入学式	①		⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤		⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨ 指導教員 登録説明会	
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
①	①	②	②	②	②		⑥	⑥	⑥	⑥ 予備登録開始	⑥	⑥		⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
②	②	③	③	③	③		⑦	⑦	⑦ 予備登録終了	⑦	⑦	⑦ 第10終了	オープン キャンパス	⑪	⑪	⑪	⑪	⑪	⑪	
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31	01	02	03	04	26	27	28	29	30	01	02
③	③	④	④	④	昭和の日 休講 事務閉室		⑧	⑧	⑧ 第10終了(6限) 第20開始(7限)					⑫	⑫	⑫	⑫	⑫		

2023 7月							2023 8月							2023 9月						
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
26	27	28	29	30	01	02	31	01	02	03	04	05	06	28	29	30	31	01	02	03
					⑫ 論文提出	論文提出		夏期休業 8/1～ ～9/19												
03	04	05	06	07	08	09	07	08	09	10	11	12	13	04	05	06	07	08	09	10
⑬ 論文提出	⑬ 論文提出	⑬	⑬	⑬	⑬ 指導教員登録						山の日									
10	11	12	13	14	15	16	14							11	12	13	14	15	16	17
⑭	⑭	⑭	⑭	⑭	⑭ 第20終了	⑭ 口頭試問														⑮ 9月入学者 ガイダンス
17	18	19	20	21	22	23	21							18	19	20	21	22	23	24
海の日 休講 事務閉室		⑮ 第20終了	⑮	⑮ 第20終了	補講									敬老の日	9月卒業式 9月入学式	授業なし	⑰ 授業開始	⑰	⑰ 秋分の日 休講 事務閉室	
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	31	01	02	03	25	26	27	28	29	30	01
⑮ 補講	補講	補講	補講	補講	補講		⑮ 補講							⑰	⑰	⑰	⑱	⑱	⑰	
31	01	02	03	04	05	06														
補講																				

- ・春学期・秋学期の2学期制です。日曜および祝日は、原則的に授業はありません。
- ・カレンダー内の○数字記載日が授業実施日です。数字は第何週目かを表します。
- ・「休日授業実施日」は、カレンダーでは祝日ですが、通常授業を実施します。
- ・「臨時休業」は、平日または土曜ですが、授業は全て休講します。
- ・「補講」は、学期中に休講があった場合の補講を行う期間です。授業中の指示に従ってください。

## ◆春学期科目の授業期間

	セメスター科目	第1クォーター科目	第2クォーター科目
平日	春学期①～⑮	春学期①～⑧ 6限	春学期⑧ 7限～⑮
土曜日	春学期①～⑭	春学期①～⑦	春学期⑧～⑭

## ◆その他の行事予定

履修登録 (WEB 履修登録システム)	4月中旬～下旬
個人別時間割表公開 (Oh-o! Meiji)	4月下旬
履修修正 (WEB 履修登録システム)	4月下旬

授業時間割表〈平日〉90分授業半期15回実施

6時限	7時限
18:55～20:25	20:30～22:00

《秋学期》 9月20日(水)～3月31日(日)

2023 10月							2023 11月							2023 12月							
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	
25	26	27	28	29	30	01	30	31	01 ⑥ 創立記念祝日 授業実施日	02 ⑦	03 ⑧ 文化の日 休講 事務閉室	04 ⑨	05	27	28	29	30	01 ⑩	02 ⑪ 指導教員 登録説明会	03	
02 ②	03 ②	04 ②	05 ③	06 ③	07 ②	08	06 ⑥	07 ⑦	08 ⑦	09 ⑧	10 ⑦	11 ⑦ 第3Q終了	12	04 ⑩	05 ⑪	06 ⑪	07 ⑪	08 ⑪	09 ⑪	10	
09 ⑨ スポーツの日 休講 事務閉室	10 ③	11 ③	12 ④	13 ④	14 ③	15	13 ⑦	14 ⑧	15 ⑧ 第3Q終了(6限) 第4Q開始(7限)	16 ⑨	17 ⑧ 第3Q終了(6限) 第4Q開始(7限)	18 ⑧ 第4Q開始	19	11 ⑪	12 ⑫	13 ⑫	14 ⑫	15 ⑫	16 ⑫	17	
16 ③	17 ④	18 ④ 予備登録済	19 ⑤	20 ⑤	21 ④	22	20 ⑧	21 ⑨	22 ⑨	23 ⑨ 勤労感謝の日 休講 事務閉室	24 ⑨	25 ⑨	26 ⑨ オープン キャンパス	18 ⑫	19 ⑬	20 ⑬	21 ⑬	22 ⑬	23 ⑬	24	
23 ④	24 ⑤	25 ⑤	26 ⑥	27 ⑥	28 ⑤	29	27 ⑨	28 ⑩	29 ⑩	30 ⑩	01	02	03	25 ⑬	26 ⑭ 冬季休業 12/26～ ～1/8	27	28	29	30	31	
30 ⑤	31 ⑥	01	02	03	04	05															

2024 1月							2024 2月							2024 3月						
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
01 元日	02	03	04	05	06	07	29	30	31	01 補講	02 補講	03	04 ④ 春季休業 2/4～ ～3/31	26	27	28	29	01	02	03
08 ⑧ 成人の日 休講 事務閉室	09 ⑩	10 ⑩	11 ⑩	12 ⑩	13 ⑩ 第4Q終了 論文提出	14	05	06	07	08	09	10 事務室閉室	11 建国記念日	04	05	06	07	08	09	10
15 ⑭	16 ⑮	17 ⑮ 創立記念日 休講 事務閉室	18 ⑮	19 ⑮ 第4Q終了	20 補講	21	12 ⑫ 振替休日 事務閉室	13	14	15	16	17	18	11	12	13	14	15	16	17
22 ⑱ 振替休日 登録済	23 補講	24 ⑱ 第4Q終了	25 補講	26 補講	27 補講	28 ⑲ 口頭試問	19	20	21	22	23 ⑲ 天皇誕生日 事務閉室	24	25	18	19	20 ⑳ 春分の日 事務閉室	21	22	23	24
29 補講	30 補講	31 補講	01	02	03	04	26	27	28	29	01	02	03	25	26 ㉑ 3月卒業式	27	28	29	30	31

- ・春学期・秋学期の2学期制です。日曜および祝日は、原則的に授業はありません。
- ・カレンダー内の○数字記載日が授業実施日です。数字は第何週目かを表します。
- ・「休日授業実施日」は、カレンダーでは祝日ですが、通常授業を実施します。
- ・「臨時休業」は、平日または土曜ですが、授業は全て休講します。
- ・「補講」は、学期中に休講があった場合の補講を行う期間です。授業中の指示に従ってください。

◆秋学期科目の授業期間

	セメスター科目	第3クォーター科目	第4クォーター科目
平日	秋学期①～⑮	秋学期①～⑧ 6限	秋学期⑧ 7限～⑮
土曜日	秋学期①～⑭	秋学期①～⑦	秋学期⑧～⑭

◆その他の行事予定

履修登録 (WEB 履修登録システム)	9月下旬
個人別時間割表公開 (Oh-o! Meiji)	10月上旬
履修修正 (オンライン専用フォーム)	10月上旬

授業授業時間割表 <土曜> 100分授業半期14回実施

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限
9:00～10:40	10:50～12:30	13:30～15:10	15:20～17:00	17:10～18:50	19:00～20:40

## Ⅱ 履修手続きの注意事項



## 履修、修了要件

### 1 修了要件

- (1) 本研究科に2年（4学期）以上在学し、46単位以上を修得すること。
- (2) 指導教員による必要な研究指導を受けた上で、専門職成果報告書（修士論文）を作成し、審査に合格すること。
- (3) 必修科目10単位を修得すること。
- (4) 指導教員を在学2学期目に決定し、在学3学期目で「論文演習Ⅰ」を、在学4学期目で「論文演習Ⅱ」を履修し、単位を修得すること。

### 2 単位数

全科目2単位です。

### 3 注意事項

- (1) 1年間に履修できる単位数の上限（年間履修上限単位数）は36単位です。ただし、修得できる単位が修了に必要な単位数に算入されない場合は、履修上限単位数にも算入されません。
- (2) 指導教員が必要と認めた場合は、2年次からガバナンス研究科の授業科目を10単位を上限に履修することができます。修得した単位は修了に必要な単位数に算入されます。ただし、当該授業科履修に際しては、科目担当教員の承認が必要です。
- (3) 指導教員又は研究科長が必要と認めた場合は、単位互換協定による他の大学院の授業科目を履修することができます。修得した単位は4単位を上限に修了に必要な単位数に算入されます。
- (4) 研究科間共通科目のうち、本研究科教授会が必要と認めた授業科目については、4単位を上限に修了に必要な単位数に算入されます。
- (5) 専門職大学院学則第26条第2項及び第43条の規定（留学等）に基づいて本研究科の単位として認定を受けることのできる単位数の上限は、10単位とします。
- (6) 専門職大学院学則第27条の規定（入学前の既修得単位の認定）に基づいて本研究科の単位として認定を受けることのできる単位数の上限は、10単位とします。認定を受けるためには、入学年度の初めの履修登録前までに、所定の手続きが必要です。

#### < 2020年度以降入学者 >

- (7) 「グローバル・ビジネス研究（海外研修科目）」は4単位を上限として修了に必要な単位数に含まれます。

#### < 2023年度以降入学者 >

- (8) 上記(2)、(3)、(5)及び(6)の規定により、修了に必要な単位数に算入できる上限は、在学期間を通して16単位とします。

## 履修登録

### 1 履修登録

毎学期、所定の期間に履修する科目の登録（履修登録）が必要です。 Semester 科目の履修登録は学期の初めとし、クォーター科目の履修登録はクォーターの初めとします。ただし、海外研修を伴う科目の履修登録は科目ごとに定め、Oh-o! Meiji でご案内します。

履修登録をしていない科目、履修エラーのある科目は単位が与えられないので注意してください。

### 2 WEB 履修登録システム

所定の期間に WEB 履修登録システムやオンライン専用フォームを使って履修登録を行ってください。WEB 履修システムでは共通認証パスワード（Oh-o! Meiji システムと同様）が必要です。具体的な履修登録方法は Oh-o! Meiji でご案内します。

### 3 「個人別時間割表」の確認

当該学期の WEB 履修登録後に Oh-o! Meiji にて公開される「個人別時間割表」と自身の履修計画が異なる場合は、履修修正期間に修正を行ってください。この期間を過ぎた場合、履修科目の追加・変更・取消は認められません。

### 4 履修登録の注意事項

- (1) 授業時間割表及びシラバスは、本研究科 WEB ページに公開されています。また、シラバス（冊子）は事務室窓口で配布します。
- (2) 病気その他のやむを得ない理由によって履修登録期間に手続きできない場合は、事前に研究科窓口まで申し出てください。

学生諸君へ

## レポート・論文の剽窃（盗用）行為への注意

明 治 大 学

昨今、授業の課題として課せられるレポートや論文を作成する際に、他人の文章（書籍・論文・Web ページ）をそのまま無断で借用したり、他の学生が作成した文章をあたかも自分の文章であるかのごとくみせかける<sup>ひようせつ</sup>剽窃（盗用）行為が目立つとの指摘が多くの教員から寄せられています。

大学としては、このようなことは看過できませんので、学生諸君は、以下の点によく注意をしてレポートや論文を作成するようにしてください。

### (1) 剽窃（盗用）行為は社会的に許されない行為

剽窃行為は、他人の学問的業績を無断で借用することであり、学問のルールに反するだけでなく、場合によっては他人の著作権を侵害する犯罪行為にもなる社会的に許されない行為です。

### (2) 剽窃（盗用）行為とみなされる事例

次のような行為は、剽窃（盗用）とみなされます。また、これに類似した行為や剽窃を助ける行為（レポート等のひな形を作成して他人に見せること等）も同様です。

- 活字媒体（書籍・雑誌・新聞等）や Web サイト等に掲載された他人の文章（無署名であっても）や資料等を出典を示さずにそのまま使い、あるいは前後関係や語句を若干変更した程度でレポート・論文を作成すること。
- 引用した部分を具体的に示さず、レポート・論文の最後に「○○参照」などと簡単に触れるにとどめること。
- 他人が作成した文章をあたかも自分が作成したかのごとくみせかけて、あるいは前後関係や語句を若干変更してレポート・論文を作成すること。

### (3) 剽窃（盗用）行為は処分の対象

定期試験に代えて実施されるレポートや論文の場合、剽窃あるいは剽窃を助ける行為が明らかであれば、定期試験での不正行為（カンニング）と同様の処分（その科目のみならず当該期の全登録科目の不合格や停学処分等）の対象となることがあります。

以上

## 科目ナンバリングについて

2020年度のシラバスから、本学の科目ナンバリング制度による科目ナンバーを、各授業科目シラバスに付番しています。この科目ナンバリング導入の目的、概要及び構造については以下のとおりです。

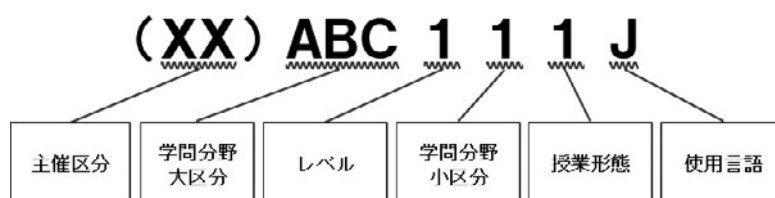
### 科目ナンバリング導入の目的

明治大学が開講する全ての授業科目を「学問分野」・「レベル」等で分類し、各々に科目ナンバーを付番することで、授業科目個々の学問的位置づけを示すことにより学生の計画的な学修への一助とすること、海外の大学との連携を容易とするためのツールとすること等を目的としています。

### 明治大学科目ナンバリングの概要及び構造

本大学が開講する全ての授業科目に、以下の科目ナンバリングコード定義に基づき、科目ナンバーを付番します。

〈科目ナンバーの構造〉



### 〈各ナンバリングコードの定義〉

#### ①主催区分コード

当該科目を開講する主催機関（学部・研究科・共通など）をアルファベット2文字で示しています。

#### ②学問分野 大区分コード

学問分野を本学が大きく区分した中で、当該科目が分類される学問分野をアルファベット3文字で示しています。

#### ③レベルコード

当該科目のレベルを数字1文字で示しています。

#### ④学問分野 小区分

本学が大区分として分類した学問分野の中で、さらに分類される分野を小区分として数字1文字で示しています。

#### ⑤授業形態コード

当該授業の実施形態を数字1文字で示しています。

#### ⑥使用言語コード

当該授業の教授における使用言語を英字1文字で示しています。

### 〈各コードの詳細〉

各ナンバリングコードの詳細及び他学部等の開講科目の科目ナンバーについては、本学ホームページ又は Oh-o! Meiji システムにて確認ください。

以 上

## ILOs 体系について

グローバル・ビジネス研究科では、当研究科を修了すること達成される学習成果目標（Programme ILOs）及び各クラスターに属する科目を履修することで得られる学習成果目標（Cluster ILOs）を設定しており、これらを合わせて「ILOs 体系」と呼んでいます。詳細は下表の通りです。詳細は各授業のシラバスに、一覧表を巻末に示しています。履修科目を決定する際の参考としてご活用ください。

	English	日本語	
Program ILOs			
1	Incorporate a highly developed ethical sense of corporate social responsibility to problem identification and resolution.	企業の社会的責任の高度な倫理的感觉を持ち経営問題の認識及び解決に取り組む。	
2	Foster a global, innovative and entrepreneurial approach.	国際的、革新的かつ起業家的なアプローチを推進する。	
3	Develop a solid foundation in business fundamentals, communication skills and management expertise.	ビジネスの基礎、コミュニケーションスキル、経営管理に関する専門知識について、強固な基盤を身に着ける。	
4	Demonstrate leadership and management competency in general and specialized business areas with a global perspective.	一般のおよび専門的なビジネス分野で、グローバルな視点を持ったリーダーシップ及び管理能力を身に着け発揮する。	
5	Conduct data analysis on information gathered from multiple business contexts.	複数のビジネスコンテキストから収集した情報のデータ分析を行う。	
6	Formulate and implement strategic plans for drastically changing business environment.	激しく変化するビジネス環境のための戦略的プランを策定し実行する。	
Cluster ILOs			
FB	Family Business 1	Being able to identify key issues in family business succession with regard to tax planning, laws or stakeholders.	ファミリービジネスの事業継承を行うにあたって、主たる問題となるタックスプランニング、法律問題、ステークホルダーとの関係性における課題を認識できるようになる。
	Family Business 2	Demonstrate appropriate abilities to integrate knowledge and skills across family business management with regard to business planning, innovation including second-time-start-up, human resource management or laws.	ファミリービジネス経営及び運営に当たり、ビジネスプラン策定、第二次創業を含むイノベーション、人事管理、法律問題に関する知識とスキルを統合するために適切な能力を発揮する。
	Family Business 3	Being able to plan financial strategy in order to manage sound family business based on market analysis.	市場分析に基づいた健全なファミリービジネス運営のための資金戦略を立案することができる。
SU	Start Up 1	Develop business model for start-up business in competitive environments by analysing customers, understanding their needs and wants in market.	マーケットにおける顧客分析や需要の理解を通して、競争環境におけるスタートアップビジネスのビジネスモデルを開発する。
	Start Up 2	Demonstrate appropriate abilities to integrate knowledge and skills across start-up business management with regard to business planning, marketing strategy, human resource management or laws.	スタートアップビジネス経営及び運営に当たり、ビジネスプラン策定、マーケティング戦略、人事管理、法律問題に関する知識とスキルを統合するために適切な能力を発揮する。
	Start Up 3	Being able to plan financial strategy in order to manage stable start-up business by appropriate sources and methods for raising funds.	安定的なスタートアップビジネス運営のための適切な資金調達方法を用いた資金戦略を立案することができる。
GM	GM or Professional 1	Demonstrate competence and understanding of basic business mind-set and concept across Management and/or Business Administration area.	マネジメント及び経営管理に関連する基礎的なマインドセットへの理解とその能力を発揮する。
	GM or Professional 2	Demonstrate competence and understanding of basic business mind-set and concept across Marketing area.	マーケティングに関連する基礎的なマインドセットへの理解とその能力を発揮する。
	GM or Professional 3	Demonstrate competence and understanding of basic business mind-set and concept across Accounting area.	アカウンティングに関連する基礎的なマインドセットへの理解とその能力を発揮する。
	GM or Professional 4	Demonstrate competence and understanding of basic business mind-set and concept across Finance and Real Estate area.	ファイナンスとリアルエステートに関連する基礎的なマインドセットへの理解とその能力を発揮する。
	GM or Professional 5	Demonstrate competence and understanding of basic business mind-set and concept across Business Law area.	ビジネス・ローに関連する基礎的なマインドセットへの理解とその能力を発揮する。

## Ⅲ 授業科目一覽

# 授業科目及び担当者

必修科目群・共通科目群							
科目群	授業科目	単位	配当年次	職格	教員氏名	備考	ページ
必修科目	ファイナンス基礎論	2	1・2	教授 教授	青沼 君明 山村 能郎	春秋開講 ※1	25
必修科目	Fundamentals to Finance	2	1・2	兼任講師	関 孝哉	英語科目	27
必修科目	マネジメント基礎論	2	1・2	教授 特任教授	野田 稔 安達 幸裕	春秋開講 ※1	29
必修科目	Fundamentals of Management〔M〕	2	1・2	教授	許 佑旭	英語科目 メディア授業科目	31
必修科目	アカウンティング基礎論〔M〕 アカウンティング基礎論	2	1・2	教授	山口不二夫	春秋開講 メディア授業科目 ※1	33
必修科目	Fundamentals of Accounting	2	1・2	(商)准教授	姚 俊	英語科目	35
必修科目	マーケティング基礎論〔M〕 マーケティング基礎論	2	1・2	教授 教授 教授	橋本 雅隆 戸谷 圭子 首藤 明敏	春秋開講 メディア授業科目 ※1	37
必修科目	Fundamentals of Marketing〔M〕	2	1・2	兼任講師	張 巧韵	英語科目 メディア授業科目	39
必修科目	Global Business Studies〔M〕	2	1・2	教授	許 佑旭	英語科目 メディア授業科目 ※2	41
必修科目	Global Business Studies	2	1・2	教授	サントス ミゲル	春秋開講 英語科目 ※2	43
必修科目	Global Business Studies	2	1・2	教授	沼田 優子	春秋開講 英語科目 ※2	45
共通科目	企業倫理〔M〕	2	1・2	教授	山口不二夫	メディア授業科目	47
共通科目	ゲーム論と企業戦略	2	1・2	兼任講師	丸田 利昌		49
共通科目	ビジネスのための基礎数学	2	1・2	兼任講師	中山 季之		51
共通科目	ビジネス・データ解析	2	1・2	教授	青沼 君明		53
共通科目	VBA 基礎	2	1・2	教授	青沼 君明		55
共通科目	AI 活用とディープラーニングの基礎	2	1・2	教授	青沼 君明		57
共通科目	Python によるデータサイエンティストの基礎	2	1・2	兼任講師	中山 季之		59
共通科目	経済学	2	1・2	教授	山村 能郎		61
共通科目	日本経済と経営	2	1・2	(会)教授	吉村 孝司	春秋開講	63
共通科目	自己表現(プレゼンス)	2	1・2	兼任講師	三輪えり花		65
マネジメント領域	グローバル・ビジネス研究Ⅲ(2019年度以前入学者)	2	1・2	教授	許 佑旭	英語科目 ハイブリッド 対応なし	68
共通科目	グローバル・ビジネス研究Ⅰ～Ⅷ(2020年度以降入学者)						
アカウンティング領域	グローバル・ビジネス研究Ⅵ(2019年度以前入学者)	2	1・2	教授	藤岡 資正	ハイブリッド 対応なし	69
共通科目	グローバル・ビジネス研究Ⅰ～Ⅷ(2020年度以降入学者)						
マネジメント領域	グローバル・ビジネス研究Ⅶ(2019年度以前入学者)	2	1・2	教授	山口不二夫	英語科目 ハイブリッド 対応なし	71
共通科目	グローバル・ビジネス研究Ⅰ～Ⅷ(2020年度以降入学者)						
マネジメント領域	グローバル・ビジネス研究Ⅷ(2019年度以前入学者)	2	1・2	教授	山口不二夫	英語科目 ハイブリッド 対応なし	73
共通科目	グローバル・ビジネス研究Ⅰ～Ⅷ(2020年度以降入学者)						

※1 使用言語が日本語の必修科目は、同一科目で年間2コマまたは3コマ開講します。その内の1コマのみ履修可能です。

※2 「Global Business Studies」は、担当教員が異なる場合も同一科目扱いのため、いずれかの履修しか認められません。内容は異なります。

専門科目群(ファイナンス・リアルエステート領域)							
授業科目	単位	配当年次	職格	教員氏名	備考	ページ	
コーポレート・ファイナンス	2	1・2	教授	王 京穂		75	
リスク・マネジメント	2	1・2	教授	青沼 君明		77	
金融工学基礎	2	1・2	教授	王 京穂		79	
証券投資論	2	1・2	兼任講師	伊藤 敬介		81	
年金マネジメント	2	1・2	兼任講師	大坪英二郎	ハイブリッド 対応なし	83	

授業科目	単位	配当年次	職格	教員氏名	備考	ページ
パーソナルファイナンス	2	1・2	兼任講師	大坪英二郎	ハイブリッド 対応なし	85
行動ファイナンス論	2	1・2	教授	王 京穂		87
金融論	2	1・2	兼任講師	小田切尚登		89
ケース・スタディ I (ファイナンス)ーフィンテックー	2	1・2	教授	王 京穂		91
CaN International 寄附講座 「Strategy for CFO and M&A Accounting」〔M〕	2	1・2	客員教授 客員准教授	大久保昭平 小田 英毅	英語科目 メディア授業科目	93
企業資金マネジメント	2	1・2	教授	サントス ミゲル		95
Corporate Liquidity Management	2	1・2	教授	サントス ミゲル	英語科目	97
Corporate Value Management	2	1・2	教授	サントス ミゲル	英語科目	100
企業価値マネジメント	2	1・2	教授	サントス ミゲル		103
不動産ファイナンス論	2	1・2	教授	山村 能郎		105
不動産開発論	2	1・2	兼任講師	信田 直昭		107
都市計画論	2	1・2	教授	山村 能郎		110
不動産実務・税制 (ファミリービジネス)	2	1・2	兼任講師	村木 信爾		112
不動産市場分析	2	1・2	教授	山村 能郎		114
企業不動産 (CRE) 戦略・サービス論	2	1・2	兼任講師	村木 信爾		116
グローバル CRE (企業不動産) 戦略論	2	1・2	兼任講師	佐藤 俊朗		119
証券化関連法	2	1・2			2023 年度未開講	
ESG 投資と ESG 経営	2	1・2	教授	王 京穂		121

専門科目群 (マネジメント領域)						
授業科目	単位	配当年次	職格	教員氏名	備考	ページ
スタートアップビジネス I	2	1・2	兼任講師	大久保幸世		123
スタートアップビジネス II	2	1・2	客員教授	石川 明	新設	125
戦略マネジメント	2	1・2	(営) 教授	歌代 豊		127
ファミリービジネス概論	2	1・2	兼任講師	加藤 幸人		129
青井記念講座 「ファミリービジネス・マネジメント論」	2	1・2	教授	山村 能郎		131
三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング寄附講座 「経営承継」〔M〕	2	1・2	兼任講師 兼任講師	黒田 裕司 寺島 大介	メディア授業科目	133
中小企業論	2	1・2	特任教授	安達 幸裕		135
中小企業経営概論	2	1・2	特任教授	安達 幸裕		137
ファミリービジネスと企業家精神	2	1・2	特任教授	安達 幸裕		139
ファミリービジネスと人材戦略	2	1・2	特任教授	安達 幸裕		141
ファミリービジネスと経営計画策定	2	1・2	特任教授	安達 幸裕		143
ファミリービジネスコンサルティング	2	1・2	特任教授	安達 幸裕		145
経営組織論	2	1・2	教授	野田 稔		147
組織行動論	2	1・2	教授	野田 稔		149
HRM・人材育成論	2	1・2	教授	野田 稔		151
HRM・人材育成論 (演習)	2	1・2	教授	野田 稔		153
Family Business 〔M〕	2	1・2	教授	許 佑旭	英語科目/ 隔年開講科目 メディア授業科目	155
International Family Business 〔M〕	2	1・2	教授	許 佑旭	英語科目/ 隔年開講科目 メディア授業科目 2023 年度未開講	
Human Resource Management 〔M〕	2	1・2	教授	許 佑旭	英語科目/ 隔年開講科目 メディア授業科目 2023 年度未開講	
International Human Resource Management 〔M〕	2	1・2	教授	許 佑旭	英語科目/ 隔年開講科目 メディア授業科目	157
M&A 概論	2	1・2	教授	岡 俊子		159
M&A 基礎スキル演習	2	1・2	教授	岡 俊子	新設	161
ディールサイクル	2	1・2	教授	岡 俊子		163
プライベートエクイティファンド概論	2	1・2	教授	岡 俊子	新設	165



授業科目	単位	配当年次	職格	教員氏名	備考	ページ
事業継承と M&A [M]	2	1・2	教授	岡 俊子	メディア授業科目	167
ベンチャーのエコシステム [M]	2	1・2	教授	岡 俊子	メディア授業科目	170
Strategic Management	2	1・2	教授	沼田 優子	春秋開講 英語科目	172
Innovation and New Business Creation	2	1・2			2023 年度未開講	
Competitive Strategy in the Digital Economy	2	1・2			2023 年度未開講	
経営戦略論	2	1・2	教授	沼田 優子	春秋開講 英語科目	174
デジタル経済下の競争戦略	2	1・2			2023 年度未開講	
キャリア開発	2	1・2	(営) 教授	中西 晶		176
オペレーション	2	1・2	兼任講師	竹之内 隆		178
ヘルスケア・マネジメント	2	1・2	兼任講師	田中智恵子		180
ヘルスケア産業のマネジメントと経済学	2	1・2	兼任講師	姉川 知史	新設	182
マネジメント・ワークショップ	2	1・2	教授	首藤 明敏	ハイブリッド 対応なし	188
ビジネスイノベーション	2	1・2	教授 兼任講師	首藤 明敏 狩谷 真治	新設	190
ケース・スタディⅢ (マネジメント)	2	1・2	教授	野田 稔		193
ケース・スタディⅣ (マネジメント)	2	1・2	教授	野田 稔		195
知的資本戦略論	2	1・2	兼任講師	関 大地		197
人的資産価値経営	2	1・2			2023 年度未開講	
トランスラクチャ寄附講座 「人事の定量分析論」	2	1・2	客員教授	林 明文	2023 年度未開講	
中国経済事情	2	1・2	教授	王 京穂		200
企業戦略論	2	1・2	兼任講師	土屋 繼		202
Business Communication	2	1・2	兼任講師	小田切尚登	春秋開講 英語科目	204
新興国市場のマネジメント	2	1・2	教授	藤岡 資正	ハイブリッド 対応なし	206
新興国市場のマネジメント (演習)	2	1・2	教授	藤岡 資正	ハイブリッド 対応なし	209

専門科目群 (アカウンティング領域)						
授業科目	単位	配当年次	職格	教員氏名	備考	ページ
財務会計論	2	1・2	教授	山口不二夫		211
企業分析	2	1・2	教授	山口不二夫		214
Business Analysis (Seminar)	2	1・2	兼任講師	許 英姿	英語科目	216
非営利組織の会計	2	1・2	教授	山口不二夫		218
戦略とマネジメント・コントロール・システム	2	1・2	教授	藤岡 資正	ハイブリッド 対応なし	220
戦略とマネジメント・コントロール・システム (演習)	2	1・2	教授	藤岡 資正	ハイブリッド 対応なし	222
租税法基礎	2	1・2	教授	鈴木 孝直	春秋開講	224
タックス・マネジメント基礎	2	1・2	教授	鈴木 孝直	春秋開講	226
タックス・マネジメント応用	2	1・2	特任教授	池田 義典	春秋開講	228
タックス・マネジメント国際	2	1・2	特任教授	池田 義典	春秋開講	230
山田コンサルティンググループ寄附講座 「事業承継・M&A・資産承継の税務」	2	1・2	客員教授 客員教授	奥村 忠史 前田 祐		232
国内租税法	2	1・2	特任教授	池田 義典	春秋開講	235
国内租税法 (演習)	2	1・2	特任教授	池田 義典		237
国際租税法	2	1・2	教授	大野 雅人	春秋開講	239
法人税法	2	1・2	(会) 教授 教授	池上 健 大野 雅人	春秋開講	241
租税手続法	2	1・2	教授	大野 雅人		243
資産課税法	2	1・2	教授	鈴木 孝直	春秋開講	245
中小企業の会計	2	1・2	兼任講師	鈴木 信二		247
企業価値評価論	2	1・2	兼任講師	富田 竜一	ハイブリッド 対応なし	250
キャッシュ・フロー・マネジメント会計	2	1・2	兼任講師	高橋 篤史		253

授業科目	単位	配当年次	職格	教員氏名	備考	ページ
国際会計実務	2	1・2	兼任講師	許 英姿		255
ケース・スタディ I (アカウンティング)	2	1・2	教授	大野 雅人		257
ケース・スタディ II (アカウンティング)	2	1・2	教授	大野 雅人		258

専門科目群 (マーケティング領域)						
授業科目	単位	配当年次	職格	教員氏名	備考	ページ
マーケティング環境分析	2	1・2	兼任講師	中島 聡		259
サービス・マーケティング [M]	2	1・2	教授	戸谷 圭子	メディア授業科目	262
製造業のサービス化 [M]	2	1・2	教授	戸谷 圭子	メディア授業科目	265
ヘルスケア・マーケティング	2	1・2	兼任講師	田中智恵子		267
e-マーケティング	2	1・2	兼任講師	高橋 一貢	ハイブリッド 対応なし	269
消費者行動論 [M]	2	1・2	兼任講師	新倉 貴士	メディア授業科目	271
デザインシンキング	2	1・2	兼任講師	小川 亮		273
ブランド価値経営	2	1・2	教授	首藤 明敏		277
マーケティング・コミュニケーション	2	1・2	教授	首藤 明敏		279
ビジネス・マーケティング	2	1・2	兼任講師	中 麻弥美		281
流通マネジメント (ファミリービジネス) [M]	2	1・2	教授	橋本 雅隆	メディア授業科目	283
データドリブンマーケティング	2	1・2	兼任講師	山之口 援		285
ロジスティクス論 [M]	2	1・2	教授	橋本 雅隆	メディア授業科目	287
流通論 [M]	2	1・2	教授	橋本 雅隆	メディア授業科目	290
サプライチェーン・マネジメント [M]	2	1・2	教授	橋本 雅隆	メディア授業科目	292
マーケティング・リサーチ [M]	2	1・2	教授	戸谷 圭子	メディア授業科目	294
ケース・スタディ I (マーケティング)	2	1・2	教授	首藤 明敏		296
ケース・スタディ II (マーケティング) [M]	2	1・2	教授	戸谷 圭子	メディア授業科目	298

ビジネス・ロー領域						
授業科目	単位	配当年次	職格	教員氏名	備考	ページ
ビジネスロー概論	2	1・2	教授	中山 知己	春秋開講	300
企業法務	2	1・2	兼任講師	石上麟太郎		302
ビジネス物権法	2	1・2	教授	中山 知己		304
ビジネス契約法	2	1・2	教授	中山 知己	春秋開講	306
ケース・スタディ民法	2	1・2	教授	中山 知己		308
民法基礎	2	1・2	教授	三林 宏	春秋開講 ハイブリッド 対応なし	310
ケース・スタディ I (不動産の売買・請負取引)	2	1・2	教授	三林 宏	春秋開講 ハイブリッド 対応なし	312
ケース・スタディ II (不動産の賃貸借取引)	2	1・2	教授	三林 宏	ハイブリッド 対応なし	314
ケース・スタディ III (賃貸借)	2	1・2	教授	三林 宏	ハイブリッド 対応なし	316
企業活動と知的財産	2	1・2	教授	熊谷 健一	春秋開講	318
事業戦略と知的財産マネジメント (基礎)	2	1・2	教授	熊谷 健一		320
事業戦略と知的財産マネジメント(ケース・スタディ)	2	1・2	教授	熊谷 健一		322
著作権マネジメント	2	1・2	教授	熊谷 健一	春秋開講	324

論文演習						
授業科目	単位	配当年次	職格	教員氏名	備考	ページ
論文演習 I	2	2	教授	青沼 君明	春秋開講	326
論文演習 II	2	2	教授	青沼 君明	春秋開講	327
論文演習 I	2	2	教授	王 京穂	春秋開講	328
論文演習 II	2	2	教授	王 京穂	春秋開講	329
論文演習 I	2	2	教授	山村 能郎	春秋開講	330
論文演習 II	2	2	教授	山村 能郎	春秋開講	331

授業科目	単位	配当年次	職格	教員氏名	備考	ページ
論文演習Ⅰ /Thesis Tutorial 1	2	2	教授	サントス ミゲル	春秋開講 英語科目	332
論文演習Ⅱ /Thesis Tutorial 2	2	2	教授	サントス ミゲル	春秋開講 英語科目	334
論文演習Ⅰ	2	2	兼任講師	村木 信爾	春秋開講	335
論文演習Ⅱ	2	2	兼任講師	村木 信爾	春秋開講	336
論文演習Ⅰ	2	2	教授	野田 稔	春秋開講	337
論文演習Ⅱ	2	2	教授	野田 稔	春秋開講	339
論文演習Ⅰ (日本語)	2	2	教授	藤岡 資正	春秋開講	341
論文演習Ⅱ (日本語)	2	2	教授	藤岡 資正	春秋開講	343
論文演習Ⅰ /Thesis Tutorial 1 (英語)	2	2	教授	藤岡 資正	春秋開講 英語科目	345
論文演習Ⅱ /Thesis Tutorial 2 (英語)	2	2	教授	藤岡 資正	春秋開講 英語科目	347
論文演習Ⅰ	2	2	教授	岡 俊子	春秋開講	349
論文演習Ⅱ	2	2	教授	岡 俊子	春秋開講	350
論文演習Ⅰ /Thesis Tutorial 1 [M]	2	2	教授	許 佑旭	春秋開講 英語科目	351
論文演習Ⅱ /Thesis Tutorial 2 [M]	2	2	教授	許 佑旭	春秋開講 英語科目	353
論文演習Ⅰ	2	2	教授	沼田 優子	春秋開講	355
論文演習Ⅱ	2	2	教授	沼田 優子		357
論文演習Ⅰ	2	2	特任教授	安達 幸裕	春秋開講	359
論文演習Ⅱ	2	2	特任教授	安達 幸裕	春秋開講	360
論文演習Ⅰ	2	2	教授	山口不二夫	春秋開講	361
論文演習Ⅱ	2	2	教授	山口不二夫	春秋開講	363
論文演習Ⅰ	2	2	教授	大野 雅人	春秋開講	364
論文演習Ⅱ	2	2	教授	大野 雅人	春秋開講	365
論文演習Ⅰ	2	2	教授	鈴木 孝直	春秋開講	366
論文演習Ⅱ	2	2	教授	鈴木 孝直	春秋開講	367
論文演習Ⅰ	2	2	特任教授	池田 義典	春秋開講	368
論文演習Ⅱ	2	2	特任教授	池田 義典	春秋開講	369
論文演習Ⅰ [M]	2	2	教授	戸谷 圭子	春秋開講 メディア授業科目	370
論文演習Ⅱ [M]	2	2	教授	戸谷 圭子	春秋開講 メディア授業科目	371
論文演習Ⅰ [M]	2	2	教授	橋本 雅隆	春秋開講 メディア授業科目	372
論文演習Ⅱ [M]	2	2	教授	橋本 雅隆	春秋開講 メディア授業科目	373
論文演習Ⅰ	2	2	教授	首藤 明敏	春秋開講	374
論文演習Ⅱ	2	2	教授	首藤 明敏		375
論文演習Ⅰ	2	2	教授	三林 宏	ハイブリッド 対応なし	376
論文演習Ⅱ	2	2	教授	三林 宏	ハイブリッド 対応なし	377
論文演習Ⅰ	2	2	教授	中山 知己	春秋開講	378
論文演習Ⅱ	2	2	教授	中山 知己	春秋開講	379
論文演習Ⅰ	2	2	教授	熊谷 健一	春秋開講	380
論文演習Ⅱ	2	2	教授	熊谷 健一	春秋開講	381

## クラスター履修モデル

本研究科では、従来の学問分野という概念に加え、分野横断的な履修モデルである「クラスター」の概念を導入しています。以下に両クラスターの履修モデルを掲載しますので履修科目選定の参考にしてください。

### 〈ファミリービジネス・クラスター履修モデル〉

1年次	
共通科目	企業倫理
マネジメント	ファミリービジネス概論
マネジメント	三菱 UFJ リサーチ&コンサル寄附講座「経営承継」
マネジメント	中小企業論
マネジメント	ファミリービジネスと企業家精神
マネジメント	組織行動論
アカウンティング	国内租税法
アカウンティング	中小企業の会計

2年次	
ファイナンス・リアルエステート	不動産実務・税制（ファミリービジネス）
マネジメント	青井記念講座「ファミリービジネス・マネジメント論」
マネジメント	ファミリービジネスと人材戦略
マネジメント	ファミリービジネスと経営計画策定
アカウンティング	タックス・マネジメント応用
アカウンティング	山田コンサルティンググループ寄附講座「事業承継・M&A・資産承継の税務」
マーケティング	ブランド価値経営
マーケティング	流通マネジメント（ファミリービジネス）

### 〈スタートアップビジネス・クラスター履修モデル〉

1年次	
共通科目	企業倫理
共通科目	AI活用とディープラーニングの基礎
マネジメント	スタートアップビジネスⅠ
マネジメント	スタートアップビジネスⅡ
マネジメント	経営戦略論
アカウンティング	国内租税法
マーケティング	サービス・マーケティング
ビジネス・ロー	ビジネスロー概論

2年次	
マネジメント	経営組織論
マネジメント	M&A 概論
マネジメント	ベンチャーのエコシステム
アカウンティング	企業分析
アカウンティング	戦略とマネジメント・コントロール・システム
アカウンティング	戦略とマネジメント・コントロール・システム（演習）
マーケティング	e-マーケティング
マーケティング	ブランド価値経営